

京町家を拠点に、「美容」の持つチカラで
女性とまちを元気にしたい

平成21年度 採択事業



三田果菜さん

人を元気にする“美容”の力に注目

室町二条に構える京町家「さいりん館」。平成21（2009）年に多目的交流スペースとして再生させた、築90年の大正中期の木造家屋です。文化講座やコンサートなど、さまざまな集まりの会場として貸し出すとともに、ネイルサロンの営業や、レンタルラックの運営なども行っています。同館のオーナーは、高校・大学在学中にヘア、メイク、ネイルなどを学び、美容師の国家資格をもつ三田果菜さん。現在、同志社大大学院に籍を置き、ソーシャル・イノベーションを専攻する大学院生でもあります。

父親が理容サロン経営、母親が理美容学校の教員という環境で、幼い頃から“美容”と身近に触れあってきた三田さんは、「美容術には人を元気にする力がある」と感じていたといいます。例えば、病気で寝たきりの人でも、身だしなみを整え、口紅を塗るだけで表情や気持ちまで明るくなり、同時に、その様子を見ている家族や周りの人まで笑顔にします。また、町内で結婚式やお祭りがあれば、人々が着飾ってお祝いムードが盛り上がり、まち全体が賑わいます。それに着眼した三田さんは、自分のもつ美容の技術や知識を「人」と「地域」を元気にするために役立てたいと平成21（2009）年に起業。ネイルの屋台出店や講座開催といった活動を始めました。



さいりん館1階の和室

京町家を再生して新たな公共空間に

その頃、三田さんは大学の京町家キャンパスでの活動を通して、人をほっこりとくつろいだ気分させる町家の魅力に注目していました。

現在、京都市内中心部には約3万軒の町家が残っており、その約1割が空家です。老朽化や世代交代により、取り壊して建て替えるケースも少なくありません。伝統が息づく家屋や景観が失われていくことを残念に思った三田さんに、見捨てられた町家を再生してネイルサロンを開き、地域の人が気軽に集える新しい公共空間を創る、という構

観光資源の活用 福祉の向上・子育て支援

想が生まれました。そこで“美容”という専門性を活かし、町家の再生と地域活性化を目的とした新しいビジネスに取り組むことに。

三田さんは、町家への思いを共有する学友と共同経営者としてタッグを組み、物件探しを開始。最初に出会ったのが、現在のさいりん館の建物です。周囲からはマンションへの建て替えを促されながら「どう使ってもらってもいいから建物は残したい」という家主さんの強い思いを知り、気になって連日通ったといいます。「暗くて鬱蒼とした空家が、光を入れ風を通してやると生を受けたように変わっていくのを感じました」。この家に運命的なものを感じた三田さんは借りることを決め、「古びた風情を楽しめる空間を創れば、人を惹きつけられる」と築90年の建物そのままを生かし、自らの手で天井や壁の合板を剥ぎ取り、廃材などを使って補強・改修作業を行いました。



入院中の患者さんにメイクをする三田さん

人々が集まれる仕組みづくりに着手

大学院のメーリングリストでファンドの情報を知り、京町家を活用した事業は支援対象になると、平成21年度分に応募しました。この機に「美容術で女性を、まちを、京町家を元気にする」というスローガンを掲げ、正式に「Happy Beauty Project」を創業。さいりん館内に事務所を置き、事業環境を整えました。

まず取り組んだのは、多くの人々が集まれるシステムづくりです。大小数々の和室や洋室、蔵などをコミュニティースペースとして貸し出し、町家運営費を生み出しながら、ネイルサロン「奏」の営業、「町家deネイル講座」の開催、美容に関する各種講座やイベントの企画。さらに美容以外にも、レンタル棚で手作り作品を展示販売する「アートラック」のプロデュース、外国人や修学旅行生に町家を知ってもらうプログラム企画など、美容と町家をツールとして、さまざまなチャンネルで人々が集まれる仕組みを考え、実施しました。その結果、ネイル講座で技術を習得した受講生た

きょうと元気な地域づくり応援ファンド支援事業
平成20年度・平成21年度 事例集

ちに出張ネイルの雇用が生まれたり、洋服リメイク講座を開いていた女性が自信をつけて起業するなど、女性の社会進出の第一歩となる重要や役割を担うこともできました。

脱毛女性を美容支援する新しい事業

平成22（2010）年2月より、新プロジェクト「Wing」の美容支援サービスを開始。抗がん剤の副作用や脱毛症で悩む方のために、ウィッグ（かつら）の販売やメイク、エステの出張サービスなど、トータルビューティーケアサポートを展開するというものです。これは10年前、三田さんの家族ががんになった経験がきっかけに。頭髪や眉毛、がすべて抜けてしまったとき、眉を描き、ウィッグや付け睫毛をつけることで人前に出る勇気を持つことができたとか。がん治療の辛い時期を乗り越えられたのも、やはり美容の持つ力です。「脱毛に限らず、病気などによる容姿の変化でふさぎ込む女性を美容面からケアして元気づけたい」と三田さん。平成22（2010）年度は「Wing」の事業で2年連続ファンドに採択されました。

平成22（2010）年7月には城陽市の男女共同参画イベントに参加。同9月には、社会起業塾イニシアティブの第9期生に選ばれました。「今後も活動拠点はさいりん館ですが、脱毛に悩むがん治療患者さんがおられたら全国各地へ出かけていきます」と語る三田さん。その明るさと美容術で全国の女性に笑顔と元気を届けています。

事業概要

Happy Beauty Project

<http://www.happybp.com/>

代表：三田果菜

業種：美容系企画 プロデュース

創業：平成21（2009）年

住所：〒604-0011

京都市中京区室町通二条上冷泉町 65

TEL：075-200-1657 FAX：075-200-1657